

事業所職員向け 児童発達支援評価表

療育ポータルスタジオ Core More 新都心スタジオ

記入日:令和 4年 3月 9日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			基本的に各部屋1組で療育をおこなっている。
	2	職員の配置数は適切であるか		2	2	職員の欠勤、休職による人員不足の時期があり利用者様にご迷惑をおかけすることがあった。事業所全体で個々の利用者様を支援していく体勢を整えていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1	1	必要に応じ個々でおこなっている状況。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	3		個々、または適宜チームでおこなっている。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			ご利用者様、保護者様のご意見を業務改善につなげていきたい。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		おこなっている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	現状おこなっていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		適宜おこなっている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			アセスメントの内容は複数人で共有・分析をし支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		契約時のアセスメントツールを共有している。必要に応じて定期的に使用することも検討。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			必要な項目を選択し設定している。今後は全職員で共有していきたい。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			担当者会議を通して支援計画の内容、実施の方法について検討し支援に臨んでいる。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	1	個別療育のため、当日の支援内容については担当がおこなっている。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			プログラムは利用者様に応じて変化をつけている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2	1	1	個別療育であるため個別の計画が主であるが、必要に応じて集団生活に還元できる内容も取り入れている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝礼で確認をしている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	1	必要に応じておこなっている。支援の内容や振り返りの記録は共有できるようになっている。
関係	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			上記のとおり。加えて特に配慮すべき点は内容をまとめ関係職員に回覧している。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			モニタリングの内容を踏まえ支援計画を見直している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2		現状おこなっていない。必要であれば参画していく。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			必要に応じて幼稚園・保育園等の関係機関を回っている。今後もおこなっていく。
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	1	書面にて共有していただいている。連携はおこなっていない。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	2	1	初回のアセスメントシートに主治医や協力医療機関等の記入をお願いしている。	

機関や保護者との連携	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		必要に応じてはかっている。入園時に必要な申し送り等をおこなっている。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	1	就学時に必要な申し送り等をおこなっている。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1	個々でおこなっている。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	現状おこなっていない。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			4	現状おこなっていない。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			支援後のフィードバック等で共通理解を図っている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	2	1	必要に応じて相談・助言をおこなっている。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		契約時におこなっている。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4			同意を得て支援にあたっている。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			適宜おこなっている。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	現状おこなっていない。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			対応できる範囲でおこなっている。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			情報発信の必要があった際におこなっている。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			個人情報取り扱いの際はご利用者様・保護者様の同意を持っておこなっている。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			方法にしばられずコミュニケーションを取る工夫をおこなっている。
39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	現状おこなっていない。外部に出向く形。	
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4			書面での共有や会議での検討をおこなっている。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			ご利用者様の支援に差し支えない範囲で適宜おこなっている。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3		1	初回のアセスメントシートに記入していただいている。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			4	指示書の提出があった場合には対応していく。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			おこなっている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			おこなっている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	2		身体拘束については契約時に保護者様と相談をさせていただいている。分かりやすい形で関係職員に共有していくことを目指す。